

高知地検の挑戦



今回、令和5年度四国再犯防止シンポジウムのテーマになっているのは「高知地検の挑戦」です！

高知地検では、「誰一人取り残さない」社会の実現に向け、職員一丸となって再犯防止策に取り組んでいます。本シンポジウムの広報も職員一丸となって取り組んでおり、広報へ行った職員からメッセージをもらったので、御紹介させていただきます。



検務官室@記録担当

私は、シンポジウムの広報活動として、高知大学地域協働学部に向いました。

再犯防止は、司法の分野からだけではなく、福祉機関や地方自治体などの行政機関、そして犯罪者を地域全体で支援する民間企業や地域ボランティアなど、多くの機関との協力のもとで行われています。

高知県の地域住民との協働を学び、さらなる地域の発展を目指す、高知大学地域協働学部の生徒の皆さんには、とても興味を持っていただけました。

これを機に、再犯防止の重要性をより多くの方々に知っていただきたいと思っています。

学生の皆さんのご参加もお待ちしております！



検務官室@事件担当

先日、高松で行われるシンポジウムの広報活動に同行させていただきました。

NPO法人はすのほ、高知市役所福祉管理課、高知市保健所健康増進課、高知市社会福祉協議会に伺わせていただいたところ、非常に興味を示して下さり「時間を調整してぜひ参加させてほしい。」という声を多数いただきました。

広報活動は初めての経験でしたが、現場の声を聞くことができ非常に良い経験になりました。



検務官室@証拠品担当

私は、高松で行われるシンポジウムの広報活動として、高知県精神保健福祉センターに行ってきました。私自身も再犯防止に関して勉強中の身ではありますが、今回のシンポジウムでは高知での再犯防止に関する取組をしている他機関の方々がパネリストとして登壇していることなど、しっかり広報できたと思います。

精神保健福祉センターのご担当者の方にはすごく興味を持っていただきました！

遠方にはなりますが、どなたでも参加が可能ですので、少しでも興味を持ってくださった方はぜひ一度足を運んでみてください！



総務課@庶務係

シンポジウムの広報活動として、高知県社会福祉士会と法テラス高知事務所にお伺いしました。

高知県社会福祉士会では、誰もが安心して暮らすことのできる地域福祉実現のための課題解決に取り組んでおり、最近では※ヤングケアラーを支える活動もしているとのことでした。

※ヤングケアラーとは、本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子供のこと

今回のシンポジウムでも、このように「生きづらさ」を感じている人たちの支援について、たくさん議論されることと思います。

「生きづらさ」を感じている人や一般の方に、支援の内容や私たちの思いが少しでも多く届けば良いなと思いました。



捜査公判管理@立会事務官

私は、高知市社会福祉協議会への広報に同行しました。

シンポジウムでは、高知の入口支援の取組や農副連携の取組等が紹介されることをお伝えしたところ、大変興味を示していただき、チラシ記載のパネリスト等出席者をご覧になった際には「〇〇さんも登壇されるんですね！」と顔なじみの方のご参加に、さらに興味津々といったご様子で、嬉しく思いました。

高知がテーマになっており、身近に感じていただける内容だと思いますので、シンポジウムに参加したい！興味がある！という方がいらっしゃいましたら、気軽にご応募、お問い合わせ下さい。お待ちしております。

余談ですが、日頃から大変お世話になっている機関でしたので、今までの連携事案の振り返り、改善点等についても話し合いが行われ、貴重な意見をいただくことができ、有意義な時間となりました。

日頃、連携して下さっている関係機関の皆さまのお力添えがあつてこそ、入口支援が成り立つのだと改めて感じ、関係機関の皆さまには頭が下がる思いです。



捜査公判管理@刑事政策担当

私は、高知県東部地域の福祉関係機関等が集まる東部ネットワーク会議において、広報活動として、シンポジウムの説明や高知地検における入口支援の取組の紹介をしてきました！

高知県の東部地域は、今回のパネリストでもある安芸福祉保健所の公文さんなどを始め、農福連携など社会復帰支援に大変力を入れている地域で、シンポジウムを始め、高知地検における入口支援の取組にも強い興味を示していただきました。

シンポジウムを機に、高知地検における入口支援の取組を多くの方に知っていただきたいです！